

埼玉県総合リハビリテーションセンターだより

<今号の内容>

- 障害児摂食嚥下外来 紹介1
- 新規採用医師紹介・自立訓練の紹介2
- 在宅医療のオンライン相談 受付中です！3
- 高次脳機能障害者支援センター「総合相談窓口」…4



発行： 埼玉県総合リハビリテーションセンター
〒362-8567 埼玉県上尾市西貝塚 148-1
TEL 048-781-2222

障害児摂食嚥下外来 紹介

障害児の摂食嚥下は、ご病気や環境などの影響で、食べる仕組みの発達や獲得が促されない、間違った食べ方を覚えてしまうことにより問題が生じることがあります。埼玉県内には障害児の摂食嚥下に対応する医療機関が少なく、患者様からどこに受診したらよいかかわからないという声が以前からよく聞かれました。そこでそのような患児に対応するために当センターに**障害児摂食嚥下外来**を設置しました。

●対象者

知的能力障害、自閉スペクトラム症やダウン症候群等の障害児（0～18歳が目安です）



●対象事例

- ・こだわりが強く食事の摂取に偏りがある方 ・飲み込みの機能は問題ないが**飲み込めない方**
- ・食べる速度が速い方・遅い方 ・**丸飲み**をしてしまう方 ・**過食**があり栄養過多の方
- ・**拒食**や**偏食**があり栄養状態が不良の方 ・その他、食生活に不安がある方



●治療内容

知的能力障害、自閉スペクトラム症やダウン症候群等の障害児に**摂食指導**を行います。また偏食、栄養状態が不良の方には**栄養指導**を行います。治療だけではなく**相談**のみにも対応していますので気軽にお問い合わせください。

※当センターで対応が難しい場合は他の医療機関に紹介を行い、連携し対応します。

●治療目標

お子さんの症状に応じた治療を基本とし、ご家族と治療の目標や要望の相談を行い、安全に楽しく美味しく食べることを目指します。

診療日：毎週 火曜日（要予約） ※ 受診日は相談により変更可能です。

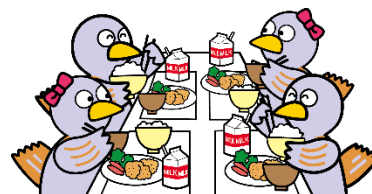
担当医師：久保 英範（歯科診療科）

- ・日本障害者歯科学会認定医
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

●お問合せ先

歯科診療部 TEL 048-781-2222

障害児摂食嚥下外来受診希望とお伝えください。※紹介状は不要です。



上記二次元コードから
当センター ホームページに
アクセスできます！

新規採用医師紹介



氏名： なかはら こうさぶろう 中原 光三郎

卒業学校： 琉球大学

職名： 医長

研究・専門： リハビリテーション医学・救急医学

診療科目： リハビリテーション科

資格： 救急科専門医 日本DMAT隊員

はじめまして、2022年10月からリハビリテーション科でお世話になっております中原 光三郎です。埼玉県ふじみ野市出身です。

大学卒業後に名古屋大学医学部附属病院で初期研修と救急・集中治療医学を学び、その後は長野県伊那市にある伊那中央病院 救命救急センターで2022年9月まで、救急医療に携わってきました。

私が主に働いてきた救急外来部門は病院の入口として役割を果たしており、救急医療に携わることで急性疾患や慢性疾患急性増悪など、さまざまな症例を経験することができました。しかしながら緊急的な専門治療が必要であったり、全身管理が必要な急性期を乗り切ったケースなど、多くの場合は各専門科の先生方にお任せするため、患者さんがその後どのような経過で病院から生活に戻っていくか、実感をもって知る機会はあまりありませんでした。

この度新たに学び始めたリハビリテーション医学・医療は、病院から日常に戻っていく、いわば病院の出口にあたり、そこにはリハビリテーションを行うことで、患者さんが失った能力を少しずつ獲得し、それに伴い自信も取り戻しながら社会に戻っていく姿がありました。その姿を患者さんと一緒に診療チーム皆で長い時間をかけて作り上げていく、本当に素晴らしい医療だと感じています。またリハビリテーションをされている患者さんは慢性期疾患を抱えている方も多く、日々の診療の中で慢性期疾患についても先輩先生方の指導の下、いろいろと学ばせていただいています。

今回自分が生まれ育った埼玉県のリハビリテーション医療に携われることは大変嬉しく、微力ながら貢献できるよう日々精進して参ります。

皆様、今後ともどうぞご指導をよろしくお願い致します。

当センター自立訓練の紹介



当センター障害者支援施設に入所中の、Kさんの訓練風景をご紹介します。

Kさんは、中学校の社会科の先生で、くも膜下出血から高次脳機能障害を発症し、復職を目指して入所中です。普段の会話や学習は問題がないのですが、短期記憶が長期記憶になりにくく、新しい道を覚えることや、初めて会う人の名前を覚えることなどが難しい状況です。麻痺などの症状はないので、一見すると障害があるように見えません。本人も困ることが少ないため、あまり自覚症状がないとのことでした。

しかし、**一見して分からない、自覚しにくい**ということが、**高次脳機能障害**の課題の1つです。まずは、ご自身の障害を自覚し、できること・できないことを整理することから訓練が始まります。その後は、復職に向けて職場の方と連携し、できないことについてはどのような対策をしていくのか等を、センターの担当者とともに考え、職場復帰の準備をしていきます。

実際の訓練の様子

成功体験を積むことを目的に、Kさんが教師役となり、センターの職員や利用者を対象に、公民の授業をする訓練をしました。

センターでは、**個人の課題や目標に合わせた訓練**を実施し、自立を支援します。



在宅医療のオンライン相談 受付中です！

神経難病の方の在宅医療を担う医師や看護師、リハビリテーション職などの専門職員を対象に、相談を受け付けています。

当センターは、神経難病患者への集中リハビリテーション、薬剤治療及び機能神経外科手術の提供といった多様かつ多数の医療実績を有しており、神経難病に関する医療スタッフも充実しています。

蓄積された知見を活かし、皆様のお悩みに答えていきますので、ぜひお気軽にご相談ください。ささいな相談も歓迎しています。

実際のご相談者の声（相談ケース：脊髄小脳変性症、ミラーフィッシャー症候群）



満足度 ★★★★★

貴重な時間をありがとうございました。
1つ1つ丁寧に回答頂き、とても参考になりました。さっそく、患者様に還元していきたいと思っています。
また神経難病の患者様で困ったことがあった際には、利用させて頂きたいと思います。
ありがとうございました！（N病院・PT）

対象の方

神経難病の方の在宅医療を担う専門職

在宅医療を担う医師、看護師、保健師、療法士、在宅医療連携拠点コーディネーター、介護支援専門員、難病相談員など

ご相談までの流れ

- ① 当センターのホームページからご予約 → 下記、二次元コードからアクセスできます 😊
- ② 申込完了メールが届く
- ③ 予約確定メールが届く（ここで**予約が確定**します）
- ④ 予約日にオンライン（ZOOM）で相談





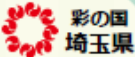
ご相談枠

毎月第2金曜日、第4金曜日 12:20~12:35 または 12:40~12:55



埼玉県高次脳機能障害者支援センター「総合相談窓口」

高次脳機能障害に関する総合相談の案内チラシをリニューアル！動画でもご紹介しています。当事者家族はもちろん、支援者からの相談も対応していますので、お気軽にお問い合わせください。



高次脳機能障害に関する 相談窓口

高次脳機能障害とは・・・

ケガや病気により脳に損傷を受けた後、次のような症状により日常生活や社会生活での困りごとがある状態のことです。


物の場所を忘れたり、
新しいできごとを
覚えられない

突然怒りだすなど、
感情がおさえられない

作業を長く続けられない
ぼんやりしていて、
ミスが多い

計画を立てたり、
予定通りに行動する
ことができない

埼玉県では、高次脳機能障害でお困りの方からの相談に対応する「総合相談窓口」を県内3か所に設置しています。面接・訪問相談も行っております。まずはお気軽にお近くの相談窓口にお電話ください。
(高次脳機能障害がある方を支援する方からの相談もお受けしています)



コバトン & さいたまっち

相談窓口


埼玉県高次脳機能障害者支援センター(総合リハビリテーションセンター内)
住所:埼玉県上尾市西貝塚148-1
電話: 048-781-2236 (相談専用)




医療法人光仁会 春日部厚生病院 住所:春日部市緑町6丁目11番48号
電話: 080-8181-4148 (相談専用)

医療法人真正会 霞ヶ関南病院 住所:川越市安比奈新田283-1
電話: 049-232-1313 (代表)

QRコードで
動画にアクセス!

詳しくは動画で





(埼玉県高次脳機能障害者支援センター)